

第1学年 道徳科学習指導案

1 主 題 名 ともだちの ために B 友情・信頼

2 主題設定の理由

(1) 価値観

友達の立場を理解したり、自分と異なる考えを受け入れたりすることは難しい。しかし、学級での生活を共にしながら一緒に勉強したり、仲良く遊んだり、困っている友達のことを心配し助け合ったりする経験を積み重ねることで、友達のよさをより感じるようになる。そして、相手の立場に立って考えるところから信頼が生まれ友情が育ってくる。身近にいる友達と一緒に、仲良く活動することのよさや楽しさ、助け合うことの大切さを実感できるような体験活動をさせることが重要である。また、友達とけんかをして、友達の気持ちを考え、仲直りできるようにする。そこで、友達と一緒に活動して楽しかったことや友達と助け合ってよかったことを考えさせながら、友達と仲よくすることの大切さを育てていきたい。

(2) 児童観

本学級の児童は、ほとんどが同じ保育所で生活を共にしてきたため、お互いを良く知っており、気心が知れた友達といった感じの仲の良い様子が見られる。しかし、毎日の生活の中では、お互いの気持ちや立場を考えてあげられないために起こるけんかやトラブルが多いという実態もある。そこで、本教材を通して、お互いを理解し合い相手の気持ちを思いやりをもって考えることによって心が通じ合い、もっと、仲良くなれること、そして、生活がもっと楽しくなることに気付かせながら、友達と仲良くし、助け合おうとする態度を育てていきたいと考える。

(3) 教材観

本教材は、小鳥たちがやまがらの誕生日に招かれたが、みんなうぐいすの家である歌の練習に行ってしまう中、みそさざいは、どうしてもやまがらのことが気になり、一人やまがらの家に行き誕生日を祝うという話である。友だちの気持ちを深く考えずに行動するみそさざいの姿は、学級の子どもたちの日常にも見られる様子であり、共感できる場面である。また、友達のやまがらのことを気遣い、一羽でも途中で抜け出し、駆けつけずにはいられなくなるという心の内や、優しくされて心から喜ぶやまがらの心の内を考えさせることで、友情の素晴らしさに気付いたり、考えたりすることで、児童自身もそのような友情関係をつくりたいという実践意欲をもつことができる教材である。

3 本時のねらい

- 友達について考えることを通して、友達を思うことの大切さに気づき、友達を大切にしていこうとする心情を育てる。

4 準備・教材

- 教材名「二わの ことり」 出典「しょうがく どうとく」(教育出版)
- 教師……教科書、ワークシート、挿絵、ペープサート、心情メーター

5 関 連

道徳 「なかなおり」(ともだちと なかよく)

6 学習指導過程

段階	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項
方向付け	1 友達がいてよかったなと思うことは、どんなことか考える。 ・一緒に遊んでくれた。 ・転んだ時に「大丈夫?」と言ってくれて嬉しかった。 ・困っているとき助けてくれた。	5	○ 友達がいてよかったと思ったことを思い起こさせ、本時の方向付けをする。 ○ 発言が出にくい場合は、日頃の児童の観察の中から出来事を取り上げる。
価値の追求・把握	2 教材「二わの ことり」の前半(うぐいすのうちは、あかるくて、みんながたのしそうです。まで)を聞き、話し合う。		○ 教材は教師が範読し、児童の集中力を高める。 ○ 電子黒板に場面絵と台詞を写しながら範読する。 ○ 場面絵を見せ、登場人物を確認しながら、状況を把握させる。

価値	みそさざいは迷っていたのにどうしてうぐいすのうちにいったのでしょうか。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・うぐいすのうちのほうが明るくてきれいだから。 ・やまがらのうちは遠くて寂しいから。 ・音楽会は楽しそう。 ・みんなが行くと言ったから。 3 教材の後半を聞き、話し合う。	15	<ul style="list-style-type: none"> ○ 心情メーターを使って、迷っている気持ちを表してから、考えさせる。 ○ うぐいすのうちに来た気持ちとやまがらのうちに行かなかった気持ちなど迷う二つの気持ちを考えさせる。 ○ 後半部分を読む。
追求	みそさざいは、どうしてうぐいすのうちから抜け出して、やまがらのうちへ向かったのでしょうか。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・やまがらは、一人で寂しい。 ・やまがらは大切な友達だから。 ・やまがらの誕生日を祝ってあげたいと思ったから。 	20	○ 心情メーターを使って、前後の気持ちを比べさせ、考えさせる。
把握	うれしそうにしているやまがらを見て、みそさざいはどんなことを思ったでしょう。		
	(1) 個人で考え、ワークシートに意見を書く。 (2) 役割演技をしながら隣同士で意見を伝え合う。 (3) 役割演技をしながら全体で発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・来てよかった。 ・喜んでくれてうれしい。 ・はじめから来ればよかった。 	35	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワークシートを配付する。 ○ ワークシートの吹き出しにみそさざいの気持ちや思いを書かせる。 ○ 全体で発表する前に隣同士で伝える場面を設定し、自分の意見に自信をもたせる。 ○ みそさざいのペープサートを使い、役割演技をさせる。 ○ 必要に応じて意図的指名を行う。 評やまがらを思いやるみそさざいの気持ちを考えている。(ワークシート、発表)
価値の自覚	4 自分の生活を振り返り、自己をみつめる。		
	友達のことを思ってできたことできたことや、こうすればよかったなど思うことはありますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・友達を保健室に連れて行ってあげた。 ・けんかして、すぐ謝れなかった。 	40	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体験とともに、そのときの気持ちについても触れるようにする。 ○ 学校生活だけでなく、家庭や地域などの場面を例示して、体験を思い起こさせる。 ○ 本教材での学びを発表させる。
まとめ	5 本時のまとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・友達のことを考えて行動することが大切だと思った。 ・友達が寂しそうにしていたら、声をかけて一緒に遊びたい。 	45	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達と仲よくするために、どんな気持ちを大切にしていきたいかまとめさせる。 ○ ワークシートで振り返りをさせる。 評友達の気持ちを考えて、仲よくすることの大切さに気付いている。(発表、ワークシート)

7 本時の評価

- 友達のことを思って行動することの大切さを理解し、友達を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができる。(発表、ワークシート)

8 備考

- 指導の力点

〈考え、議論する道徳の授業づくり〉

- ・ 心情メーターを用いて、自分の気持ちや他者の考えを可視化することで、それぞれの考えを捉えやすくし、自分の考えを深められるようにする。
- ・ 役割演技を取り入れることで、登場人物の思いや気持ちを考えやすくさせる。

9 指導と評価